

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	H.O.	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	三年	派遣国	台湾
派遣大学	東海大学		
期間	令和5年9月7日～ 令和6年1月5日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮					
部屋	4人部屋					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○(冷房のみ)	冷蔵庫	◎
滞在費	約12000円 *1ヶ月あたりの寮費					
移動	学内寮であるため基本徒歩移動 遠い教室は校内バスやレンタサイクル利用					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	約40000円	外食/食堂/コンビニ
学用品購入費	約2000円	教科書/ノート
交通費	約2000円	高速バス(路線バスとレンタサイクルを利用すればほぼ無料、旅行などで都市をまたぐ際はお金がかかる)
交際費	約2000円	友達の誕生日パーティー代
その他	約30000円	旅行/部活経費/衣類/通信代

合計 76,000円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は比較的良好
夜中でも一人で外出可能

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学		
加入期間	5ヶ月間	保険料	49,990円

4. 滞在都市についての情報

台中市(西屯区)

立地：台北から高速バスで二時間半程度

天気：夏は暑く冬は真冬でも日本の秋程度

湿度が高い(最高35度、最低10度くらい)

台北は雨が多いのに対し、ほとんど雨が降らない

物価：台北よりやや安い

交通機関：路線バスが基本(市に申請を出せば一

度の移動10km以内は無料)

レンタサイクル(Ubike)も30分以内

の利用なら無料(登録必要)

比較的都会だが、そこまで物価が高くなくサービスが充実しているため暮らしやすい。



【学業編】

1. 大学情報

大学	東海大学	所在地	台中市西屯区
最寄空港	桃園空港	空港からの距離	高速バスで2時間程度
空港⇄大学	高速バス(客運)で2時間		
学生数	約17,000	留学生数	約1,500

<p style="text-align: center;">学部</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文学部 <ul style="list-style-type: none"> • 中国文学科および研究科 • 外国文学科および研究科 • 日本語学科および研究科 • 歴史学科および研究科 • 哲学学科および研究科 • 英語センター • 理学部 <ul style="list-style-type: none"> • 物理学科および研究科 • 化学学科および研究科 • 生命科学科および研究科 • 応用数学科および研究科 • 工学部 <ul style="list-style-type: none"> • 化学工学・材料工学科および研究科 • 工業工学・経営情報学科および研究科 • 環境科学・工学学科および研究科 • 情報工学科および研究科 • 電機工学科および研究科 • デジタルイノベーション碩士課程 • 自動化及び企業協同研究センター • 管理学部 <ul style="list-style-type: none"> • 企業管理学科および研究科 • 国際貿易学科および研究科 • 会計学科および研究科 • 統計学科および研究科 • 財務金融学科および研究科 • 情報管理学科および研究科 • 農学部 <ul style="list-style-type: none"> • 畜産バイオテクノロジー学科および研究科 • 食品科学学科および研究科 • ホスピタリティーマネジメント学科および研究科 • 運動休閒・健康管理進修学士課程 • 生物技術課程 • 動物実験照護・使用委員会 • 農業推進センター • 社会科学部 <ul style="list-style-type: none"> • 経済学科および研究科 • 政治学科（国際関係、政治理論）および研究科 • 社会学科および研究科 • ソーシャルワーク学科および研究科 • 公共行政学科および研究科 • 教育研究所 • 都市及び地域発展研究センター • 東アジア社会経済研究センター • 師資培育センター • 幸福な家族研究推進センター • 芸術・クリエイティブデザイン学部 <ul style="list-style-type: none"> • 建築学科および研究科 • 工業デザイン学科および研究科 • 景観学科および研究科 • 美術学科および研究科 • 音楽学科および研究科 • 建築研究センター • 法学部 <ul style="list-style-type: none"> • 法律学科および研究科 • 医事法研究センター • 企業法制研究センター • 国際学部 <ul style="list-style-type: none"> • 国際経営管理学士課程 • 持続可能性科学と工学学士課程 • 進修推進部 <ul style="list-style-type: none"> • 情報工学・科学進修学士課程 • 法律学科進修学士課程 • 経済学科進修学士課程 • 美術進修学士課程
<p style="text-align: center;">学部/専攻</p>	<p style="text-align: center;">所属なし(交換留学生という枠で大体の授業は受講可能)</p>

2. 週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	9:10~12:00 中国語	9:10~12:00 中国語	9:10~12:00 中国語	9:10~12:00 中国語	9:10~12:00 中国語
午後	14:10~17:20 絵本を読む授業 (英語)			14:10~16:10 台湾の歴史(英 語)	

3. 履修内容

科目	中国語		
履修期間	9/15~1/5	単位数	なし
授業内容／形態	事前のテストによって(全くできない人はスキップできる)レベル別に少人数クラスに分かれて中国語の授業を受ける。週 15 時間(3 時間× 5 日)か週 6 時間(3 時間× 2 日)か、午前か午後か選べる。 <授業形態> ディスカッション <学生数> 約 15 人		
成績	成績提示なし		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	English Enhancement through Reading and Telling		
履修期間	9/11~1/1	単位数	2

授業内容／形態	<p>英語の児童用図書を読み、そこから文化や慣習、倫理観などを読み取る。また、その感想をまとめたり、参加者と話し合いをしたりすることで、英語の能力を高める授業。最終的には、自分で絵本を作り、それをみんなの前で読み聞かせする。</p> <p><授業形態> 先生の読み聞かせ、動画の視聴、英語のディスカッション <学生数> 約 30 人</p>		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Taiwanese History and Cultural Heritage		
履修期間	9/11~1/4	単位数	2
授業内容／形態	<p>台湾の歴史や文化遺産について学ぶ。合計二回のフィールドトリップに参加できる。台湾の歴史が多く残る台南に赴き、お寺を見たりパイナップルケーキを作ったりする。</p> <p><授業形態> 講義、フィールドトリップ <学生数> 約 40 人</p>		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

私は、このタイミングで台湾の東海大学に交換留学できて本当に良かった。なぜなら、今回の留学でたくさんの素敵な人々に出会うことができたからだ。

まず、人との出会いについて。私は、この留学でいろいろな人々に出会い、成長することができた。初めて出会ったのは、ルームメイト。四人部屋の構成は、一個年上の日本人、ベルギー人、スペイン人と最年少の私だった。後から聞くと、他の日本人留学生はほとんど日本人同士で部屋を組まれていたようだったので、本当にラッキーだと思う。ヨーロッパ人二人には、驚かされるが多かった。まず、英語の流暢さ。二人とも母国語はフランス語とスペイン語であるにもかかわらず、明らかに私とはスピードも語彙も発音の良さも違い、最初は聞き取るのも一苦労だった。また、話すときのテンションもかなり日本人とは違って面白かった。彼女たちとの会話のおかげで英語のスピーキング能力は少し上がったと思う。他にも、理想とする体型の違いや、生活スタイルの違い、蚊に対する考え方の違いなど、違いを感じるが多かった。一方で、同じアニメが好きだったり、聴いている曲が同じだったりもして嬉しかった。二人とも台湾留学終わりに日本に来てくれて、ベルギー人とは原宿で一緒にラーメンとクレープを食べた。そして、もう一人の日本人のルームメイトが、私が最も仲良くしていた尊敬する日本人の一人だ。彼女は今まで出会ったことのないタイプの私とは真逆の人で、同じ日本人でも違うところがたくさんあった。彼女は、自分の芯を強く持っていて、決断力があって効率的に物事をこなす人だった。私は、影響されやすくて、優柔不断で何かと時間がかかってしまうタイプでそれを悪いとも思っていなかった。彼女の生き方がすごくかっこいいなと思った。今でも自分のすべてを変えたいとは思わないが、場面によっては彼女のやり方をまねた方がいいなと思うようになった。そして、そんなきりっとした彼女は、いつも実家の見守りカメラに映る愛犬を見せてきたり、私のくだらないギャグに大笑いしてくれたり、D級の方向音痴だったり、という一面も持っていて本当に素敵。このように、私は彼女たちと一緒に生活をしたことで、今までは自分が知らなかったことや持っていなかった価値観を知り、自分の考えをアップデートすることができた。また、彼女たちは私にとってかけがえのない友達で大好きな存在になった。

次に会ったのが、中国語クラスのクラスメイト。私のクラスは、国籍も年齢もジェンダーも幅広い層が集まっていて、まさに多様性という言葉がぴったりなクラスだった。授業は英語開講で英語の質問もたくさん飛び交っていた。私は留学で英語を学びたいという目的もあったので、先生から中国語を学びながらクラスメイトから英語を学ぶことができて本当に良い環境だった。また、日本での学習ではここまでいろんな国の人と話せる英語を聞いたことがなかったので、それもよかったと思う。クラスメイトの中には、定年後のおじいちゃんや、子育て中のお母さん、社会人のお姉さんなど本当に様々な人がいた。留学生よりも、おじいちゃんやお母さんの方が授業に積極的で、年を重ねても子供がいても学び続ける姿勢が素敵だなと感じた。特に仲良くしていたのは、タイ人とインドネシア人の英語ペラペラギャルズ。最初は、朝だからか愛想がなくて怖いという印象だったが、関わってみたら心が広くて、私のギャグにも笑ってくれて、一緒にいると落ち着く存在になった。私が英語をうまく話せないときも、意図をくみ取ってくれたり、言い方を教えてくれたり、本当に親切で本当にありがたかった。このように、中国語の授業では、将来こんな風になりたいなと思うような人たちがたくさんいた。

そして、部活動に参加して初めて台湾人の友達ができた。私が入った部活はほとんどが台湾

人で、部活中の会話もすべて中国語だった。そんな中にほとんど中国語が話せない状態に入った私が、楽しくやっていたのは間違いなく同じチームの女子ズのおかげだ。私のチームの新入生には女の子が私以外に二人いて、その子たちに本当に救われた。まず二人は、英語がかなり話せて、私が分かっていなそうだと絶対に英語で教えてくれた。そして二人とも当たり前のように私を輪に入れてくれて、私が来ると英語で話してくれた。他のみんなも日本語でほめてくれたり、部活に行くと声をかけてくれたりして本当にみんなのやさしさが心にしみた。そんなみんなと中国語で会話したい、みんなの笑いに共感したい、みんなを笑わせたい、それが私の中国語学習のモチベーションになった。

このように、私は今回の留学で日本に残っていたら絶対に出会えなかった人々に出会い、たくさんの学びと自分を高める糧をもらった。これからも仲良くしていきたいと思える人にも出会うことができた。人との出会い、これが私の留学で最も大きな収穫だ。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

私は、今回の留学でたくさんの人に出会い、自分の価値観がアップデートされたり、中国語を学ぶモチベーションを得たりすることができた。

この経験を踏まえて、私が今後取り組んできたいことは主に二つある。

まず一つ目は、新しい人とたくさん出会う、ということである。今回の留学で私が自分の考えをよりよく変えることができたのは、新たな人との出会いがあったからである。私の影響されやすい、という特徴は悪い特徴のように思えるが、逆に、柔軟性がある、吸収しやすい、ととらえることもできる。その特徴のおかげで、留学中に会った素敵な人々の影響を受け、価値観が変わったり、新しいことに挑戦することになったり、自分の成長につながった。留学前は、自分のコミュニティが部活とバイトぐらいで新しい人との出会い自体がなかったので、今後は定期的に新しい人に合える場に参加していきたい。具体的には、学校内でも留学生との交流の場に参加したり、就活イベントにも積極的に応募したりしていきたい。

二つ目に、今後も中国語の学習を継続し、中国語レベルを日常会話ができる程度に上達させたい。なぜなら、私は今回の留学で中国語を学ぶことに楽しさを感じ、また台湾人の友達ができただけで中国語を上達させるモチベーションを得ることができたからである。二月からまた、ワーキングホリデービザを使って台湾に帰国するので、より中国語の勉強に集中したい。具体的には、語学学校で中国語の知識を蓄えつつ、部活動も継続することでリスニング能力やスピーキング能力など、実践的な中国語能力を向上させたい。また、二か月ほどたったなら、飲食店でのアルバイトもはじめ、資金をためつつより効率よく中国語を習得していきたい。また、帰国後も中国語や英語を学び続けていきたいので、アルバイトも言語を使えるような仕事に挑戦していきたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学を楽しめる人

私は今回の留学が本当に楽しくて、来てよかったと強く思っていた。一方、周りの日本人の中にはずっと帰りたいといっている人もいた。そのような人たちはなぜ楽しめなかったのか、私はなぜ楽しめたのかを考えたとき、一番に思い浮かんだのは、違いを面白いと思えるかどうかという点である。留学をすると、周りの環境が大きく変化する。言語をはじめ、文化、食、衛生面、周りの人の価値観など、日本では味わうことのできない違いを様々な側面を感じる。

例えば、私が台湾に留学していて感じた違いは、食の違いである。まず、食生活が違う。台湾は、外食文化が強く、朝ごはんさえ外食で済ます人が多い。私は日本ではほとんど自炊だったため最初は栄養面で不安を感じたが、やってみると案外楽で、野菜も意識すれば摂取できるので、むしろ料理の手間がなくおいしいものが食べられるのは快適だった。そして、台湾の料理は味付けが独特なものが多い。私はもともと好き嫌いがいい方なので、台湾ではなるべく食べたことのない料理に挑戦しようという意気込みのもと、近くの夜市の台湾料理屋さんにはほぼ制覇した。もちろんその中で苦手なものもあったが、逆に好物に出会うこともできた。一方周りの日本人では、台湾の味付けが苦手なほとんどの食事をコンビニか日本料理屋さんですませ、体重も落ちてしまっている人もいた。食はだれもが毎日必要とするものなので、そこに大きな違いがあった場合でも、適応し楽しめることは重要だ。

このように、食に限らず、はじめはその違いに驚いたとしても、それにストレスを感じ拒絶するのではなく、面白いと感じ楽しめる人ならば、留学を存分に楽しめると思う。逆にそのマインドがあり、留学に興味があるのならば、留学するべきだと思う。